

日本教育方法学会 第27回大会プログラム

《大会日程》

第一日 (10月5日・土)	9:30	課 題 研 究 I			課 題 研 究 II		
	12:00	休 憩					
	13:00	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6
	15:00	休 憩					
	15:20	シ ン ポ ジ ウ ム					
	17:50	会 員 懇 親 会 (18:10より)					

第二日 (10月6日・日)	9:00	自由研究 7	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12
	12:00						
	12:10	総 会 (12:10~13:00)					
	13:00	休 憩					
	14:00						
	16:30	課 題 研 究 III			課 題 研 究 IV		

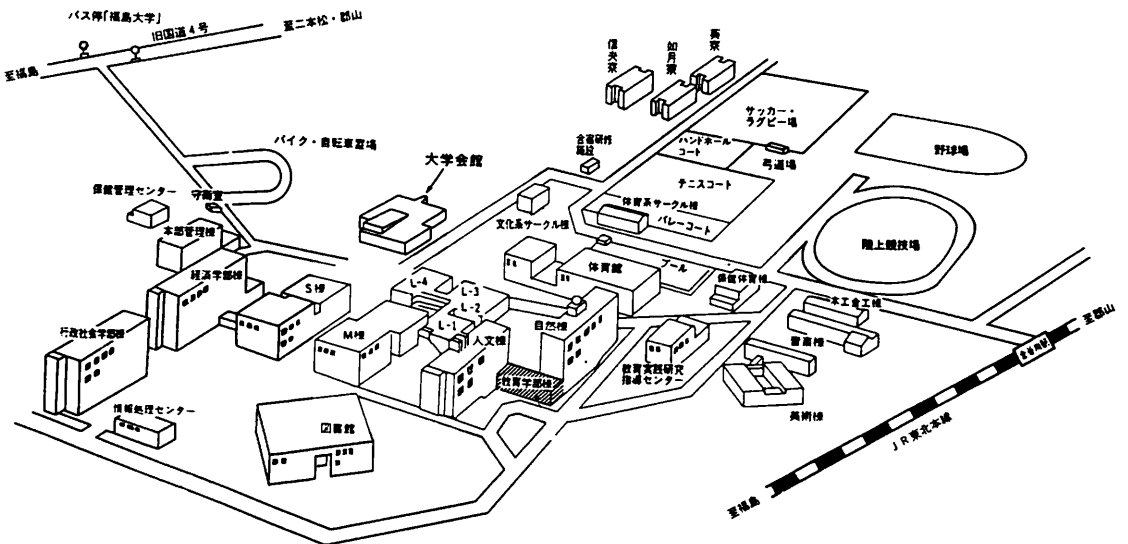
* 司会者は50音順、共同研究発表者の氏名は発表申し込み書に記入された順序によります。○印は口頭発表者です。

1991年10月 5 日 (土) ・ 6 日 (日)
於 福 島 大 学

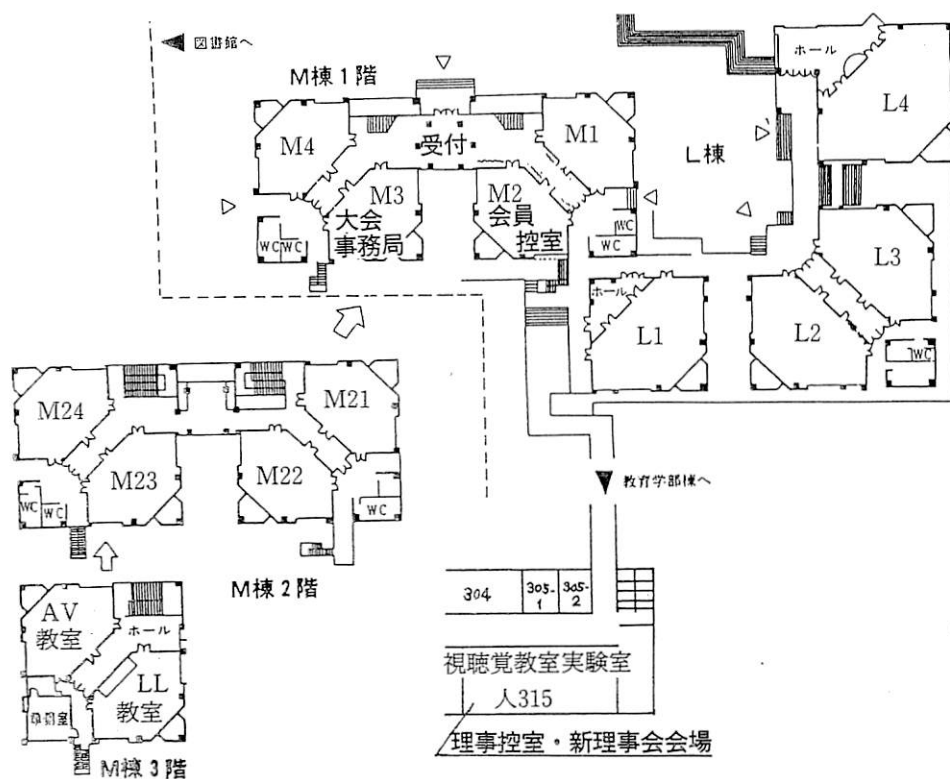
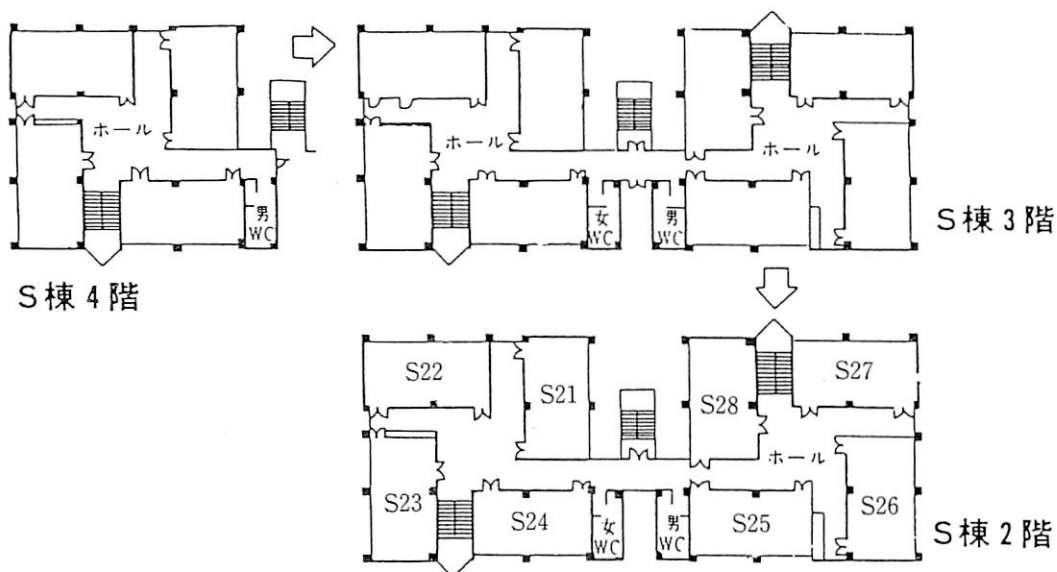
大会参加要領

1. 受付：大会第1日（10月5日）は9:00、第2日（10月6日）は8:30から、会場入口で行います。
2. 学会費：'91年度会費は、一般会員 5,500円、学生会員 4,000円です。
3. 参加費：一般会員 3,000円、学生会員 2,000円です。（発表要旨集録代含む）
当日会員（臨時会員）もこれに準じて受け付けております。
4. 昼食について：第1日目（土曜日）は大学の生協食堂をご利用ください。
会場近辺には飲食店は全くありません。
第2日目（日曜日）は、弁当の注文に応じますので、当日の午前10時までに、
受付にて代金（500円）を添えてお申し込みください。
5. 会場校連絡先：〒960-12 福島市松川町浅川字直道2
福島大学教育学部教育学研究室
(TEL) 0245-48-5151
6. 交通：JR 東北本線の金谷川駅より、徒歩5分です。
なお、金谷川駅は福島駅より上り（東京寄り）2つ目で、この間の所要時間は約10分です。
車でおいでの方は、旧国道4号が福島大学の入口になりますので、ご注意ください。

福 島 大 学 案 内 図



7. 会場配置図



※会員控室は、M棟1階M2教室です。
お茶などを用意しております。

※理事控室は、人文棟3階の315教室です。

課題研究Ⅰ 生涯学習社会に求められる子どもの能力 —情報活用能力, 問題解決学習, 生活の共同化などの立場から— (M22教室)

(9:30~12:00)

司会者

奥田 真 丈 (川村学園女子大学)

佐藤 三 郎 (流通科学大学)

提案者

菅井 勝 雄 (大阪大学) 情報活用の立場から15

平光 昭 久 (椋山女学園大学) 問題解決能力学習の立場から16

遠藤 芳 信 (北海道教育大学) 生活の共同化の立場から17

(設定の趣旨) 現在, 生涯学習社会という呼称が広く主張されている。そこで, こうした社会を生きる子どもたちに求められる能力とは何か, 学校教育はどのような能力を育成する必要があるのか, いくつかの視点から検討する。

課題研究Ⅱ 指導要録の改訂と教育評価の課題 (M23教室)

(9:30~12:00)

司会者

稲葉 宏 雄 (京都大学)

日比 裕 (名古屋大学)

提案者

谷川 彰 英 (筑波大学) 観点の循環的機能について—授業づくりの視点から— ...18

井上 正 明 (福岡教育大学) 子どもの個性尊重と達成度評価を実践するための教師の力量 ...19

長尾 彰 夫 (大阪教育大学) 新指導要録の構造と問題点20

(設定の趣旨) 現在, 小・中学校の指導要録の改訂が進められ, 広く論議の対象となっている。そこで, この指導要録のあり方を見据えながら, 現代における教育評価研究の課題を明らかにする。

自由研究 1

（S 25教室）

司会者 柴田 義松（成蹊大学）
藤田 輝夫（秋田大学）

- 13:00 教育技術観の成立過程21
——ペスタロッチの場合——
森 悦子（神戸女子大学大学院）
- 13:30 ディースターヴェークの授業観に関する研究22
——彼の「教授規則」の分析を通して——
手取 義宏（大阪市立大学大学院）
- 14:00 教育をとらえる「比喩モデル」研究23
——コメニウスとフレーベルの場合——
船越 美穂（神戸女子大学大学院）
- 14:30 教授学研究における演劇的パラダイムに関する一考察24
深沢 広明（広島大学）

自由研究 2

（S 26教室）

司会者 斎藤 浩志（琉球大学）
豊田 久亀（大阪市立大学）

- 13:00 「発達の教授＝学習」論の今日的展開25
山崎 雄介（京都大学大学院）
- 13:30 授業指導過程における「発達診断」の位置と役割に関する研究26
——授業過程構成論(1)——
松田 己統美（広島大学大学院）
- 14:00 「子どもが探究しはじめる時」の研究27
大村 稷（堺市立大仙小学校）
- 14:30 高等学校学習指導要領 行動及び性格の記録の評価の課題28
千葉 浩三（宮城県南郷高等学校）

自由研究 3

（M1教室）

司会者 霜 田 一 敏（愛知教育大学）
高 田 喜久司（上越教育大学）

- 13:00 教材・教具の分析の枠組29
—— 問題解決の観点から ——
松 下 佳 代（京 都 大 学）
- 13:30 社会科成立期の地域社会科教育計画の研究(9)30
—— 福岡県・田川プランの構造 ——
谷 本 美 彦（宮 崎 大 学）
- 14:00 戦後初期における「日常生活課程」の成立と展開に関する研究（その3） ...31
○山 口 満（筑 波 大 学）
○安 井 一 郎（名古屋学院大学）

自由研究 4

（M4教室）

司会者 天 野 正 輝（京 都 大 学）
磯 田 一 雄（成 城 大 学）

- 13:00 態度変容をめざす家庭科の授業構成32
—— 小学校食物小单元『なぜ、すききらいなく食べるのか』教授書試案 ——
佐 藤 園（岡 山 大 学）
- 13:30 Arts into Curriculum の諸相(3)33
—— Humanities における芸術教育 ——
山 木 朝 彦（大 分 大 学）
- 14:00 Closed Caption（英語字幕）を取り入れた英語授業の方法論34
菱 田 一 三（東 海 大 学）
- 14:30 六甲山カリキュラム開発研究(II)35
—— 教材化の原理と実践 ——
土 井 捷 三（神 戸 大 学）
今 谷 順 重（神 戸 大 学）
○山 本 幸 夫（神戸大学附属住吉小学校）
疋 田 康 弘（神戸大学附属住吉小学校）
小 紫 達 矢（神戸大学附属住吉小学校）

自由研究 5

(M24教室)

司会者 佐藤 学(東京大学)
長谷川 栄(筑波大学)

- 13:00 デール(Dale.E)の視聴覚教育理論に関する一考察36
——カリキュラム理論との関わりを中心として——
西村 泰三(福岡教育大学大学院)
- 13:30 ジョン・ウィルソンの道徳教育論におけるカリキュラム分析について37
林 泰成(同志社大学)
- 14:00 W.T.ハリスの初等教育の目的に関する研究38
——自然科学教育の位置——
庭野 義英(上越教育大学)
- 14:30 アメリカにおける同心円の拡大の代替案の検討39
安藤 輝次(福井大学)

自由研究 6

(AV教室)

司会者 中野 和光(福岡教育大学)
吉田 貞介(金沢大学)

- 13:00 教育工学における「制御」概念の教授学的検討40
——CAI研究を中心に——
小柳 和喜雄(広島大学大学院)
- 13:30 マイクロ授業が教育実習評価に与える効果41
河野 義章(東京学芸大学)
- 14:00 教科選択支援システムの開発(2)42
——MAUD(多属性効用分解再合成プログラム)の手法を取り入れて——
○木原 俊行(大阪大学)
○森田 英嗣(大阪教育大学)
山口 好和(大阪大学大学院)

10月5日（土） 午後

シンポジウム

（L4教室）

（15:20～17:50）

子どもの権利条約と教育実践の課題

——人権・環境・平和などの視点から——

司会者

庄司 他人男（福島大学）

藤田 昌士（立教大学）

提案者

- | | |
|-----------------|---|
| 佐藤 博之（福島県浮金中学校） | 「子どもの権利に関する条約」をテコに教育の現場を
どう拓くか44 |
| | ——現場教師からの提案—— |
| 二 杉 孝 司（金城学院大学） | 子どもの権利条約と授業観の転換45 |
| | ——子どもの「意見表明権」を中心として—— |
| 梅 田 修（和歌山大学） | 子どもの人権と教育実践46 |

（設定の趣旨） 「子どもの権利条約」（1989年11月20日、第44回国連総会で採択）がわが国の教育に対して提起している課題は多い。これからの教育実践の課題を、人権・環境・平和などの視点から総合的に検討する。

インフォメーション

会 員 懇 親 会

日 時 : 第1日(10月5日) 18:10から

会 場 : 福島大学生協

会 費 : 2,500円程度

会員相互の親睦をはかるため懇親会を開きます。

多数の会員の皆様のご参加をお願いします。

会 員 総 会

日 時 : 第2日(10月6日) 12:10~13:00

会 場 : L棟 L4教室

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集下さい。

書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』ならびに研究紀要『教育方法学研究』の最新刊及びバックナンバーの販売を会員割引価格等にて販売いたしております。この機会に是非お求め下さい。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、一部 800円にて頒布いたしております。

なお、『教育方法』最新刊第20号(『学校文化の創造と教育技術の課題』)は、一昨年度より『教育方法』が会員配付制とすることになりましたので、本年度会費を納入された方には随時お手元に輸送させていただきます。

自由研究7

（S25教室）

司会者 川口幸宏（和歌山大学）
三枝孝弘（埼玉大学）

9:00 子どもを捉える視座の研究47
——ロックからルソーへ——

角野幸代（神戸女子大学大学院）

9:30 教育思想の方法化（その2）48
『教育学のすすめ』と『人を育てるプロの技術』

北川金秀（宝塚市立西山小学校）

10:00 「生活綴方的教育方法」を適用した教育実践の実相49

神郁雄（関東学院中学・高等学校）

10:30 明治前期の小学教員、伊東忍の指導技術の形成過程50

松本裕司（大分県立中津北高等学校）

自由研究8

（S26教室）

司会者 川合章（中京大学）
水内宏（千葉大学）

9:00 幼・小一貫教育と低学年カリキュラム開発の課題51

腰山豊（秋田大学教育学部附属幼稚園）

9:30 「構成的方法」による授業の改善52

——中学校理科の指導を通して——

永山美雄（福島大学大学院）

10:00 日本における文化教育学の受容と教科論53

伊藤博之（京都大学大学院）

10:30 戦後直後、都道県における教科書の削除・修正作業54

三石初雄（福島大学）

自由研究9

(M1教室)

司会者 木下 繁 弥 (大阪教育大学)
村上 直 治 (福 島 大 学)

- 9:00 歴史教育の目標としての「共感」とその評価55
——イギリスの中等教育の場合——
鋒 山 泰 弘 (追手門学院大学)
- 9:30 経済認識の発達と教材構成56
中 澤 賢 一 (玉 川 大 学)
- 10:00 多人数の授業における討論の試み57
——大学教育実践研究(2)——
佐 藤 年 明 (三 重 大 学)
- 10:30 授業における教授方略58
——「一つの花」の授業の比較分析——
○長谷川 栄 (筑 波 大 学)
○新 井 孝 喜 (筑波大学大学院)

自由研究10

(M4教室)

司会者 浅 野 誠 (中 京 大 学)
上 野 ひろ美 (奈良教育大学)

- 9:00 戦後高校生活指導実践における「文化活動」論の検討60
藤 井 啓 之 (広島大学大学院)
- 9:30 ある私立高校の倒産と教育の再建と私61
妹 尾 昌 (倉敷高等学校)
- 10:00 クラブ活動(部活動)の指導と問題点について62
角 本 尚 紀 (神戸海星女子学院大学)
- 10:30 アメリカにおける幼児教育課程の改革63
橋 川 喜美代 (鳴門教育大学)
- 11:00 保育素材の粘土について64
前 川 吉 彦 (金井幼稚園)
- 11:30 幼児期における環境に関わる力と自我の状態の考察65
尾 崎 春 人 (銀嶺幼稚園)

自由研究11

(M24教室)

司会者 阿部好策(新潟大学)
小田切 正(北海道教育大学)

- 9:00 中学生の自己認識に関する研究66
——選択教科の学習における自己認識の実態——
山口好和(大阪大学大学院)
- 9:30 斎藤喜博の横口授業「山の子ども」の分析67
——「出口」論争再考——
井上光洋(東京学芸大学)
- 10:00 課題学習の可能性と危険性68
——課題学習の日常化を目論む—— ○井上正允(筑波大学附属駒場中・高等学校)
○藤井悦雄(大阪音楽大学)
- 11:00 授業諸要因の関連構造を構成する手順69
○日比 裕(名古屋大学)
○的場正美(名古屋大学)
○石川英志(岐阜大学)
○飯島 薫(名古屋大学大学院)
○平山 勉(名古屋大学大学院)

自由研究12

(AV教室)

司会者 諸岡康哉(金沢大学)
渡辺光雄(筑波大学)

- 9:00 授業における思考活動と対話的コミュニケーション71
山住勝広(神戸大学大学院)
- 9:30 授業のコミュニケーション的構成に関する研究72
中村美子(広島大学大学院)
- 10:00 高く評価される発言状況の一形態について73
——発言表を併用する分析——
○中村 亨(九州大学)
○田上 哲(九州大学)
○養田和重(九州大学研究生)
○李 霜華(九州大学研究生)
- 11:00 教授における主体ポジションについて75
——ゾチアールな諸関係における生徒の主体ポジションの検討——
○歡喜隆司(大阪教育大学)
○木下百合子(大阪教育大学)

課題研究Ⅲ 授業研究方法論の到達点と今後の課題

(M22教室)

(14:00～16:30)

司会者

中村 亨(九州大学)

山下 政俊(島根大学)

提案者

片上 宗二(広島大学) 求められる授業のオープン・エンド化(Open-ended)の方法論76

的場 正美(名古屋大学) 授業諸要因の関連構造にもとづく授業過程分析の意味77

長石 敦(兵庫教育大学) 教育とメディア78

——Hyper media の導入と研究課題——

(設定の趣旨) わが国の授業研究が、学的に開始されてから30年余りたつ。今日まで授業研究は、さまざまなアプローチが試みられてきたが、各々の検討を通して、授業研究方法論の到達点と課題を明らかにする。

課題研究Ⅳ 低学年カリキュラムの内容・方法 および評価に関する教授学的研究

〈継続〉 (M23教室)

(14:00～16:30)

司会者

清水 毅四郎(信州大学)

水越 敏行(大阪大学)

提案者

黒上 晴夫(大阪大学) 生活科に関する実態調査79

横山 康洋(福島市第二小学校) 低学年カリキュラム(生活科)の内容・方法および評価に関する研究80

寺尾 慎一(福岡教育大学) 授業の現状からみた生活科教育研究の課題81

土井 捷三(神戸大学) 幼・小連携の視点からみた低学年教育の統合と分化 ...82
——神戸大学附属幼稚園・附属明石小学校の研究から——

(設定の趣旨) 昨年度に引き続き、わが国の低学年カリキュラムの歴史と現状、また諸外国における低学年カリキュラムの開発例など、低学年カリキュラムをめぐる諸問題を多面的に検討する。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1 9 6 6	(品切)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1 9 6 8	(品切)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1 9 6 9	(品切)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1 9 7 0	(品切)
教育方法 5.	教育方法学'70年代の課題	1 9 7 2	(品切)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1 9 7 4	(品切)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1 9 7 5	(2,300円)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1 9 7 6	(品切)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1 9 7 7	(2,100円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1 9 7 9	(品切)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1 9 8 0	(2,400円)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(2,200円)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,900円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(2,000円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1 9 9 0	(1,760円)

最新刊・教育方20『学校文化の創造と教育技術の課題』

内 容

- I. いま、なぜ不登校なのか—学校文化を問う—
- II. 学校における教科外指導・特別活動の今日的課題
- III. 低学年カリキュラム・生活科の内容・方法および評価
- IV. 新教育課程編成における個別化・個性化
- V. 教育技術とは何か—その「知」のあり方と有効性を問う—

- ◎ 大会当日、会場にて会員割引価格で販売いたします。
 この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。
 18号からは、「会員配布制」となりましたので、会費を
 納入された方には明治図書より直接お手元まで郵送いた
 します。

明治図書

〒170 東京都豊島区南大塚 2-39-5
 TEL (03) 3946-2221 (代)